



2021年5月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月2日

上場会社名 ミタチ産業(株)

上場取引所 東名

コード番号 3321 URL <https://www.mitachi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋 和博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門担当 (氏名) 飛田 直之

TEL 052-332-2596

定時株主総会開催予定日 2021年8月27日

配当支払開始予定日

2021年8月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年8月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期の連結業績(2020年6月1日～2021年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	33,880	0.1	924	21.8	1,000	29.1	665	34.0
2020年5月期	33,859	12.1	759	42.2	775	44.5	496	48.9

(注) 包括利益 2021年5月期 840百万円 (123.8%) 2020年5月期 375百万円 (63.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年5月期	84.14		6.9	6.5	2.7
2020年5月期	62.80		5.4	5.1	2.2

(参考) 持分法投資損益 2021年5月期 百万円 2020年5月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	16,622	9,971	59.9	1,259.65
2020年5月期	14,324	9,290	64.7	1,172.64

(参考) 自己資本 2021年5月期 9,958百万円 2020年5月期 9,270百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年5月期	594	21	331	1,969
2020年5月期	1,707	197	1,102	1,665

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年5月期		15.00		10.00	25.00	197	39.8	2.1
2021年5月期		10.00		10.00	20.00	158	23.8	1.6
2022年5月期(予想)		12.50		12.50	25.00		24.7	

3. 2022年5月期の連結業績予想(2021年6月1日～2022年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	13.5	480	66.1	510	66.8	370	119.3	46.79
通期	37,000	9.2	1,050	13.6	1,100	9.9	800	20.3	101.18

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期	7,906,000 株	2020年5月期	7,906,000 株
期末自己株式数	2021年5月期	604 株	2020年5月期	534 株
期中平均株式数	2021年5月期	7,905,408 株	2020年5月期	7,905,466 株

(参考)個別業績の概要

2021年5月期の個別業績(2020年6月1日～2021年5月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	24,515	3.2	617	0.4	742	11.2	485	23.8
2020年5月期	23,755	11.5	619	18.5	667	21.5	392	29.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期	61.47	
2020年5月期	49.63	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	12,226	7,193	58.8	909.25
2020年5月期	10,523	6,846	65.0	865.18

(参考) 自己資本 2021年5月期 7,188百万円 2020年5月期 6,839百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、感染症拡大の防止策が継続されるなか、社会活動のレベル引き上げが徐々に進み景気は回復基調となったものの、その後の緊急事態宣言の再発令等を受け、景気の回復は弱い動きとなりました。海外経済において、中国では新型コロナウイルス感染症の封じ込めにより、早期に経済活動が再開され、米国では各種政策により消費マインドは改善に向かうなど、経済活動に回復の動きがみられる地域があったものの、新型コロナウイルス感染再拡大の影響による経済活動の制限もあり、依然として不透明感は継続しております。

当社グループを取りまく環境において、急速なデジタル化の進展により、引き続き半導体・電子部品の需要増加が見込まれる一方、競争環境はより激化をしており、大きな環境変化が継続しております。このような経済環境のもと、当社グループにおいて、主要取引先である自動車分野につきましては、車載機器関連の半導体・電子部品の販売およびEMSは、自動車販売の回復にともない、国内での受注回復や中国での受注増加などにより、売上高は前期比で増収となりました。産業機器分野につきましては、IT関連の需要増加などにより、売上高は前期比で増収となりました。民生分野につきましては、海外での新型コロナウイルス感染症の再拡大による、経済活動や生産活動制限の影響を受け、売上高は前期比で減収となりました。アミューズメント分野につきましては、規制等の影響による受注減少などから、売上高は前期比で減収となりました。

その様な環境の中、当社グループにおきましては、継続的に売上高の伸長に努めるとともに、コスト抑制を推進し、収益の維持に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高は338億80百万円（前期比0.1%増）、利益につきましては、営業利益は9億24百万円（前期比21.8%増）、経常利益は10億円（前期比29.1%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は6億65百万円（前期比34.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

国内事業部門

車載機器関連の半導体・電子部品の受注は、電動化製品に関連する採用や受注回復などにより売上高は増加、産業機器関連の工作機械向け受注は、IT関連の需要増加によるEMSなどの受注増加により売上高は増加し、アミューズメント分野での売上高減少はあったものの、連結売上高は239億86百万円（前期比3.0%増）となりました。セグメント利益は10億98百万円（前期比2.2%増）となりました。

海外事業部門

中国での早期市場回復による地域的な売上高の増加はあったものの、新型コロナウイルス感染症による、アセアン地域での生産活動の制限影響による受注減少などがあり、連結売上高は98億94百万円（前期比6.5%減）となりました。セグメント利益は2億88百万円（前期比66.6%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度における資産の合計は、166億22百万円となり、前連結会計年度と比較して22億97百万円の増加となりました。これは受取手形及び売掛金18億47百万円の増加、電子記録債権4億53百万円の増加等が反映されたことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度における負債の合計は、66億51百万円となり、前連結会計年度と比較して16億16百万円の増加となりました。これは支払手形及び買掛金14億円の増加等が反映されたことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度における純資産の合計は、99億71百万円となり、前連結会計年度と比較して6億80百万円の増加となりました。これは利益剰余金5億7百万円の増加等が反映されたことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、19億69百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億3百万円の増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果獲得した資金は、5億94百万円（前期は17億7百万円の獲得）となりました。これは主に売上債権の増加額21億53百万円があったものの、税金等調整前当期純利益10億円、たな卸資産の減少額3億60百万円、仕入債務の増加額12億59百万円等が反映されたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は、21百万円（前期は1億97百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出60百万円、関係会社株式の取得による支出26百万円等が反映されたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は、3億31百万円（前期は11億2百万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の純増減額の減少2億19百万円、配当金の支払額1億58百万円等が反映されたことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年5月期	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期
自己資本比率 (%)	45.2	50.0	56.4	64.7	59.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	31.0	49.5	33.8	33.6	30.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	6.2	2.1	0.6	1.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	10.0	16.9	45.5	29.6

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株価時価総額（期末株価終値）／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。なお、2017年5月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため表示しておりません。

4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての債務を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきまして、新型コロナウイルスのワクチン接種の普及や、防疫体制のさらなる整備などの効果により景気回復が期待されるものの、変異株による再度の感染拡大などのリスク懸念、米中通商問題のさらなる顕在化の懸念など、国内外の経済活動の先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

一方エレクトロニクス業界では、自動車の電動化の進化や、民生分野や産業機器分野でのIoTの拡大、それらに向けたソリューションサービスの拡大などにより、さらなる半導体、電子部品、周辺電子機器、ソフトウェアの需要増加が見込まれております。

このような環境のもと、当社グループの2022年5月期の連結業績予想につきましては次のとおりであります。

売上高	370億円	(前期比 9.2%増)
営業利益	10億50百万円	(前期比 13.6%増)
経常利益	11億円	(前期比 9.9%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	8億円	(前期比 20.3%増)

(注) 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

また、このような前提のもと、ミタチ産業グループ『中期経営計画2023』を策定し、当社グループの企業価値の向上と強化、売上の拡大と業績の向上の為、『基盤ビジネスの強化』、『新規顧客・新規事業での成長』、『仕入先企業との協業強化』、『経営基盤の強化』にグループ一丸となり努めてまいります。

当社グループの『中期経営計画2023』(2024年5月期)の数値目標は次のとおりであります。

売上高	500億円
営業利益	16億円
ROE	10%以上

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社では長期的視点に立った財務体質と経営基盤の強化に努めるとともに、株主各位に対する利益還元を経営の重要施策と位置づけております。この方針に基づき、安定的な配当に配慮するとともに、業績に裏づけされた利益配当を基本方針としており、連結配当性向は30%程度を目標とし利益配当を行ってまいります。

内部留保資金につきましては、将来を見据えた経営基盤の維持ならびに、今後の事業拡大のために活用し、将来の業績向上を通じ利益還元を行ってまいります。

当期末の配当金につきましては、上記の方針に基づき、期末配当を1株あたり10円の予定とし、中間配当と合わせた年間配当は1株20円を予定しております。

次期の配当につきましても、引き続き上記の方針に基づき実施する予定であり、年間配当金として1株につき25円(中間配当12.5円、期末配当12.5円)を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,685,278	1,989,075
受取手形及び売掛金	3,881,086	5,728,818
電子記録債権	1,998,500	2,452,320
たな卸資産	4,221,454	3,923,423
その他	621,031	638,032
貸倒引当金	△32,256	△33,872
流動資産合計	12,375,095	14,697,797
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,149,334	1,186,354
減価償却累計額	△898,105	△935,654
建物及び構築物 (純額)	251,229	250,699
機械装置及び運搬具	608,153	646,105
減価償却累計額	△466,998	△521,944
機械装置及び運搬具 (純額)	141,154	124,160
土地	519,622	519,622
リース資産	254,587	255,607
減価償却累計額	△39,484	△33,919
リース資産 (純額)	215,103	221,688
その他	187,366	186,761
減価償却累計額	△165,279	△167,575
その他 (純額)	22,087	19,186
有形固定資産合計	1,149,197	1,135,357
無形固定資産	212,919	171,824
投資その他の資産		
投資有価証券	110,840	162,271
関係会社株式	50,000	26,178
その他	431,834	433,188
貸倒引当金	△5,144	△4,299
投資その他の資産合計	587,529	617,339
固定資産合計	1,949,646	1,924,520
資産合計	14,324,741	16,622,318

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,322,588	3,723,426
電子記録債務	1,142,409	1,117,437
短期借入金	789,589	569,934
未払法人税等	71,184	232,220
賞与引当金	81,905	91,764
役員賞与引当金	10,190	13,530
その他	263,854	441,539
流動負債合計	4,681,721	6,189,853
固定負債		
リース債務	220,640	243,201
資産除去債務	30,282	30,650
その他	101,834	187,594
固定負債合計	352,757	461,446
負債合計	5,034,479	6,651,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	818,105	818,105
資本剰余金	860,730	860,730
利益剰余金	7,490,794	7,997,895
自己株式	△281	△324
株主資本合計	9,169,350	9,676,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,776	30,299
為替換算調整勘定	91,147	251,374
その他の包括利益累計額合計	100,924	281,674
新株予約権	7,066	5,934
非支配株主持分	12,921	7,003
純資産合計	9,290,262	9,971,019
負債純資産合計	14,324,741	16,622,318

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
売上高	33,859,759	33,880,617
売上原価	30,662,874	30,677,691
売上総利益	3,196,885	3,202,926
販売費及び一般管理費	2,437,723	2,278,613
営業利益	759,161	924,312
営業外収益		
受取利息	14,061	8,583
受取配当金	2,434	2,005
仕入割引	44,687	45,655
受取家賃	40,130	37,058
助成金収入	-	32,109
その他	36,085	28,870
営業外収益合計	137,399	154,283
営業外費用		
支払利息	37,558	20,086
売上割引	4,106	2,977
為替差損	42,626	40,663
賃貸費用	6,375	6,332
貸倒引当金繰入額	21,800	-
その他	8,726	7,618
営業外費用合計	121,192	77,678
経常利益	775,368	1,000,917
税金等調整前当期純利益	775,368	1,000,917
法人税、住民税及び事業税	274,596	332,308
法人税等調整額	13,215	9,399
法人税等合計	287,812	341,708
当期純利益	487,555	659,209
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△8,968	△6,000
親会社株主に帰属する当期純利益	496,524	665,209

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
当期純利益	487,555	659,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,213	20,522
為替換算調整勘定	△103,945	160,309
その他の包括利益合計	△112,158	180,832
包括利益	375,397	840,041
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	384,736	845,959
非支配株主に係る包括利益	△9,338	△5,917

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	818,105	860,730	7,231,434	△281	8,909,989
当期変動額					
剰余金の配当			△237,163		△237,163
親会社株主に帰属する当期純利益			496,524		496,524
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	259,360	-	259,360
当期末残高	818,105	860,730	7,490,794	△281	9,169,350

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	17,989	194,721	212,711	7,090	22,259	9,152,052
当期変動額						
剰余金の配当						△237,163
親会社株主に帰属する当期純利益						496,524
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△8,213	△103,574	△111,787	△24	△9,338	△121,150
当期変動額合計	△8,213	△103,574	△111,787	△24	△9,338	138,209
当期末残高	9,776	91,147	100,924	7,066	12,921	9,290,262

当連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	818,105	860,730	7,490,794	△281	9,169,350
当期変動額					
剰余金の配当			△158,108		△158,108
親会社株主に帰属する当期純利益			665,209		665,209
自己株式の取得				△43	△43
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	507,100	△43	507,057
当期末残高	818,105	860,730	7,997,895	△324	9,676,407

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	9,776	91,147	100,924	7,066	12,921	9,290,262
当期変動額						
剰余金の配当						△158,108
親会社株主に帰属する当期純利益						665,209
自己株式の取得						△43
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	20,522	160,227	180,749	△1,132	△5,917	173,699
当期変動額合計	20,522	160,227	180,749	△1,132	△5,917	680,756
当期末残高	30,299	251,374	281,674	5,934	7,003	9,971,019

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	775,368	1,000,917
減価償却費	193,303	168,072
のれん償却額	8,384	8,384
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,054	9,859
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,790	3,340
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10,651	729
受取利息及び受取配当金	△16,496	△10,589
助成金収入	-	△32,109
支払利息	37,558	20,086
売上債権の増減額 (△は増加)	1,518,193	△2,153,060
たな卸資産の増減額 (△は増加)	404,478	360,780
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	351,016	△62,095
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△4,339	4,339
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△9,821	△14,268
差入保証金の増減額 (△は増加)	△3,175	△3,989
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,137,273	1,259,944
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	2,857	188,444
その他	△22,313	△15,584
小計	2,089,547	733,200
利息及び配当金の受取額	16,513	10,565
利息の支払額	△37,190	△20,047
法人税等の支払額	△361,392	△161,195
助成金の受取額	-	32,109
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,707,477	594,631
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	△20,000
定期預金の払戻による収入	20,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△93,267	△60,940
無形固定資産の取得による支出	△38,701	△18,649
投資有価証券の取得による支出	△2,010	△21,870
投資有価証券の売却による収入	5,500	-
貸付けによる支出	△25,435	△7,391
貸付金の回収による収入	19,191	70,353
関係会社株式の取得による支出	△50,000	△26,178
関係会社の清算による収入	-	49,233
その他	△12,334	△6,185
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197,057	△21,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△833,211	△219,491
長期借入金の返済による支出	-	61,082
配当金の支払額	△237,163	△158,108
自己株式の取得による支出	-	△43
その他	△32,047	△15,368
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,102,422	△331,929
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,800	62,721
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	388,196	303,796
現金及び現金同等物の期首残高	1,277,082	1,665,278
現金及び現金同等物の期末残高	1,665,278	1,969,075

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、電子デバイス（半導体、液晶等）、電子部品の販売及びそれらに付随する業務を主たる事業としており、主に国内で事業活動を行なう「国内事業部門」、主に海外で事業活動を行なう「海外事業部門」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	国内事業部門	海外事業部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,281,223	10,578,536	33,859,759	-	33,859,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	760,033	865,214	1,625,248	△1,625,248	-
計	24,041,257	11,443,750	35,485,007	△1,625,248	33,859,759
セグメント利益	1,075,274	173,391	1,248,666	△489,504	759,161
セグメント資産	8,448,717	4,836,571	13,285,288	1,039,453	14,324,741
その他の項目					
減価償却費	51,995	122,208	174,204	19,098	193,303
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	9,333	89,544	98,878	11,711	110,589

(注) 1. (1) セグメント利益の調整額△489,504千円は、セグメント間取引消去△15,734千円、各報告セグメントに配分していない全社費用（本社管理部門に関する営業費等）△473,770千円であります。

(2) セグメント資産の調整額1,039,453千円は、セグメント間取引消去△561,107千円、各報告セグメントに配分していない全社資産1,600,560千円であります。

(3) その他の項目の調整額の減価償却費及び有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	国内事業部門	海外事業部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,986,005	9,894,612	33,880,617	-	33,880,617
セグメント間の内部売上高 又は振替高	691,398	824,476	1,515,875	△1,515,875	-
計	24,677,403	10,719,089	35,396,493	△1,515,875	33,880,617
セグメント利益	1,098,612	288,804	1,387,417	△463,105	924,312
セグメント資産	9,826,624	5,548,415	15,375,040	1,247,278	16,622,318
その他の項目					
減価償却費	53,073	99,960	153,034	15,038	168,072
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	35,596	87,993	123,590	14,237	137,827

(注) 1. (1) セグメント利益の調整額△463,105千円は、セグメント間取引消去△114千円、各報告セグメントに配分していない全社費用(本社管理部門に関する営業費等)△462,990千円であります。

(2) セグメント資産の調整額1,247,278千円は、セグメント間取引消去△612,282千円、各報告セグメントに配分していない全社資産1,859,561千円であります。

(3) その他の項目の調整額の減価償却費及び有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
1株当たり純資産額	1,172円64銭	1,259円65銭
1株当たり当期純利益	62円80銭	84円14銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	496,524	665,209
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益(千円)	496,524	665,209
普通株式の期中平均株式数(株)	7,905,466	7,905,408
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整 後1株当たり当期純利益金額の算定に含め なかった潜在株式の概要	2015年7月3日開催の取締役会議に よる第1回新株予約権 新株予約権の数 3,709個 (普通株式 370,900株) 2018年3月12日開催の取締役会議に よる第2回新株予約権 新株予約権の数 2,500個 (普通株式 250,000株)	2015年7月3日開催の取締役会議に よる第1回新株予約権 新株予約権の数 3,709個 (普通株式 370,900株)

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。